



王南通信

令和5年3月27日 第53号（最終号）
HPアドレス <http://ounansho.sakura.ne.jp/>



5年生からのメッセージを給食センターのみなさんに届けました。

新1年生を迎えるために……

来年度の新1年生を迎える入学式では、太子学舎の最高学年となる3年生が全校を代表して1年生を迎える予定です。先日、3年生たちが体育館で入学式のことを考え、練習をしていました。これまでもすでに、来年度のことを考えて登校班の班長を3年生がつとめてくれています。遅れている人がいるときには、班長が列を止めて追いつくのを待ってくれたり、横断歩道では旗を出して安全を確認したりととてもたのしい働きぶりです(^-^)

今年度の王南通信はこの号が最終号となります。来年度の王南通信では、新4年生のさまざまな活躍ぶりをお伝えできると思っています。新4年生の初めての大きな仕事となる入学式。きっとすてきな式にしてくれることでしょう。



王寺南義務教育学校の1年目が終わりました

王寺南義務教育学校が開校して、初めての1年が終わります。それぞれの学年での学習、友達や先生方との生活を終え、次の学年へ進級するための節目の式である「修了式」を各学舎で行いました。

24日の朝、まず太子学舎の修了式。1～4年の各学級代表に修了証を手渡した後、太子学舎のみんなに今年度最後の話をしました。それから移動して畠田学舎の修了式を行いました。両学舎の先生方が時間差で式を計画してくれました。私が到着したとき、5、7、8年生のみんなはすでに集合していましたが、すぐ前に座っていた8年生が「お疲れ様です」と私に小さな声で言ってくれました。素敵な笑顔で。1年間の疲れや悩み（私にも一応あります）がいっぺんに吹っ飛びました。こんな子どもたちや先生方と出会えて、一緒に過ごすことができ私は本当に幸せです。

畠田学舎でも学級代表に修了証を渡し、話をしました。卒業式で9年生へ贈った「真面目さ」の話。真面目さは自分の弱さに打ち克った証。「真面目である」ことは人としての誇り。一人一人がもつ真面目さを自らの誇りとして、4月からの新しい学年での生活に臨んでほしいと伝えました。

午後からは、6年生の前期課程修了式を行いました。修了証書を手渡したときの6年生一人一人の照れくさそうな笑顔。それが私が全校のみんなからこの1年間もらい続けた笑顔の、最後のプレゼントになりました。みんなと出会えて本当によかった。心からそう思っています。みんなどうもありがとう。

王寺南義務教育学校 第1回立志式

先週月曜日に文化福祉センターで立志式を行いました。王寺南義務教育学校の発展期となる学年区分8、9年生へと進級する7年生が、その節目に当たりどのような志を、目標をもってこれからの2年間を過ごしていくのか。そうしたことをしっかりと自分に誓う機会として、そしてこれからも共に過ごす仲間と分かち合う機会として行った「立志式」。一人一人が文化福祉センターの舞台上、しっかりと自らの志を述べてくれました。志や目標、「夢」と言い換えてもいいかもしれませんが、途中で変わっていくこともあるでしょう。それでもいいのです。大切なことは、その時に立ち止まって自らの夢や目標をしっかりと見つめ直すこと。いつも自分の中に夢や目標をもっていることが、自分を前へ進める原動力となります。みんなの健闘を祈ります(^-^)

1年間 どうもありがとうございました

保護者の皆様、1年間どうもありがとうございました。
昨年4月に王寺南義務教育学校が開校し、初年度の学校経営を行ってまいりました。うまくいったことも、もっとできたのではないかなと思うこともあります。離れた二つの学舎を行き来する困難さを伴いましたが、本校の教職員がそれぞれの担当を責任をもって果たし、チームとして助け合いながら学校運営を進めてくれました。深く感謝しています。私ができない多くのことを副校長先生や教頭先生をはじめ全ての教職員が補い、子どもたちの大切な1年間をしっかりと見守り、支えてくれました。

また、保護者の皆様のご理解とご協力こそが、1年間の教育活動を進めるための最大の土台でした。感染対策に追われ学級閉鎖等を余儀なくされた時期もありました。新たな通学路を通う子どもたちをずっと見守ってくださった皆様もおられます。初めて行う義務教育学校としての様々な取組を何とか進めることができたのは、PTA本部をはじめ保護者の皆様のご理解とご協力をいただけたおかげです。皆様の支えがあったからこそその1年であったところから感謝しております。ありがとうございました。

離れた学舎の子どもたちの姿を、できるだけリアルタイムで伝えたいと思って続けてきた学校通信の発行です。子どもたちや保護者のみなさんはもちろんですが、普段は離れた学舎でそれぞれの子どもたちと向き合っている本校の教職員に、学校全体の様子を伝えたい。そんな願いから毎回両学舎の記事を取り上げてきました。配信を楽しみにしていますと言ってくれる皆様の声の大きな喜びであり励みでした。子どもたちだけでなく、教職員を、そして学校長まで温かく支えてくださり、心より感謝いたしております。来年度もどうぞ変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。

